

第4期中期目標項目（案）

資料2

1. 地域の安心と社会の発展への貢献（教育）

●：継続、★：新規

○：継続、☆：新規

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	中期目標（本文）	成果指標	【参考】計画または進捗管理(案)
教育 ＜質の高い医療人の育成＞	1 地域に貢献する医療人の県内定着	地域医療を支える人材の確保 ・県内に定着し地域医療を支える人材を育成・確保する。	★奈良県の医療に貢献する意思を持った学生の割合（医学科・看護学科）	○医学科学生（現役）の県内就業率 ○看護学科学学生（現役）の県内就業率 ○看護学科卒業生（既卒＋現役）の保健師県内就業者数 ☆医大卒医の県内基幹病院における専攻医登録率 ☆県内医療需給の動向に関する地域医療対策協議会の検討結果に応じた地域枠の人数の調整
	2 教育の質の向上	教育内容の充実 ・最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人を育成する。 ・地域社会から期待される医学・看護学・医療分野のリーダーとなる人材を養成する。	●医師・看護師・保健師・助産師の現役卒業生の国家試験合格率の向上	☆Pre-CC OSCE再試験受験者数 ☆Post-CC OSCE再試験受験者数 ☆CBT再試験受験者数 ☆入学者数に対する国家試験合格率 ☆留年者数 ○看護技術項目到達度チェックリストの到達度平均（※学生の自己評価） ☆学位（修士、博士）取得者数
		教員の教育能力向上と教育の質の保証 ・教員の教育能力の更なる向上を図る。 ・教育の自己点検・評価及び第三者評価を有効活用し、教育の質の向上を図る。	★学生への授業評価アンケート結果の向上	○FD研修受講率
		教育実施体制の充実 ・学生の教育環境の改善・充実に図り、効果的な教育実施体制を構築する。		☆リサーチ・クラークシップの学生派遣人数（国内・国外） ☆リサーチ・クラークシップの学生派遣機関数（国内・国外） ☆リサーチ・クラークシップに係る学生への助成件数 ☆図書館蔵書数（電子書籍等含む） ☆図書館利用者数 ☆協定校への留学者数 ☆協定校からの留学者受入件数
3 学生への支援の推進	学生支援の充実 ・全ての学生が安心して学修・生活等が送れるよう積極的な支援を実施するとともに、学修、生活、心身の健康等への支援体制を充実させる。	★学生対応への満足度	☆成績不良者への面談実施件数 ☆カウンセリング実施件数	

第4期中期目標項目（案）

資料2

1. 地域の安心と社会の発展への貢献（研究）

●：継続、★：新規

○：継続、☆：新規

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	中期目標（本文）	成果指標	【参考】計画または進捗管理(案)
研究 ＜最先端の研究の実施＞	4 研究力の向上	最善の医療に貢献する最先端の研究の実施 ・研究水準及び成果を高めるため、大学の研究機能や研究支援体制の充実により、研究基盤の強化を図る。	●PubMed対象の英文学術論文数の増加 ●文部科学省科学研究費助成事業採択件数（新規+継続）の増加数	☆日本医療研究開発機構（AMED）事業採択件数 ○民間企業や他学部との共同研究件数 ○研究活動不正防止研修の受講者数 ○若手研究採択件数 ○女性研究者（医学科女性教員割合） ☆研究医養成数（研究医養成コース義務修了者数） ☆臨床研究の実施件数
	5 研究成果の還元	研究成果還元による県民への健康増進及び医学・看護学等の発展への貢献 ・研究の成果を県民及び社会へ還元し、県民への健康増進、医学・看護学等への発展及び社会実装に貢献する。	★セミナー、フォーラム、シンポジウム等実施件数	☆セミナー等の参加者の満足度 ○県・市町村の保健事業等への支援実施件数 ☆特許取得件数 ☆研究成果を用いた製品開発件数

第4期中期目標項目（案）

資料2

1. 地域の安心と社会の発展への貢献（診療）

●：継続、★：新規

○：継続、☆：新規

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	中期目標（本文）	成果指標	【参考】計画または進捗管理(案)
診療 <最善の医療の提供>	6 県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践	救急・災害・周産期・小児・新興感染症医療体制の強化 ・救急・周産期・小児医療体制に加え、災害医療にも備えることにより地域の安心の確保に貢献する。 ・新興感染症についても県の感染対策事業に対して適切な助言を行い、リーダーシップを発揮して取り組む。 ・救急医療や高度医療に責任を持って対応する「断らない病院」を実現する。	●救急隊から附属病院への受入照会に対する受入率の向上 ●附属病院の新生児受入率及びハイリスク妊婦受入率の向上	○災害医療を支えるDMATチームの育成 ○中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合 ○24時間365日ER体制の運営について
	7 県内基幹病院としての機能の充実	高度医療・先進医療の推進 ・5疾病（がん、脳卒中、循環器病、糖尿病、精神医療）を中心に高度医療・先進医療を推進 ・特定機能病院としての良質な医療を提供できるよう病院機能を維持・充実 医療安全体制の確立 ・県内医療機関による安全で透明性が高く、県民から信頼される医療を提供 患者主体の医療の提供 ・医療人のホスピタリティマインド醸成、患者の意見及び要望の適切な反映、患者満足度の向上により最適な医療を提供 病院運営の効率化・健全化 附属病院の経営資源の適切な分配、医療DXの推進等、病院運営の効率化に取り組む。 医療費適正化の推進 公立医療機関として率先して、後発医薬品の使用推進や費用構造改革の徹底等に取り組む。	★先進医療実施件数（病院臨床指標「高度医療評価制度・先進医療診療実施数」） ★手術技術度D・E手術件数 ●患者満足度調査における「満足」の割合 ★医業収支比率	☆エキスパートパネル実施件数 ☆外来がん化学療法実施患者数 ○高度ながん治療の実施件数 ☆手術全身麻酔件数 ☆インシデント・アクシデント報告・要因分析を踏まえた患者安全対策提案数 ○患者満足度調査において診察の待ち時間について「不満」「やや不満」と回答する割合 ○ホスピタリティマインド醸成研修受講者アンケート ○後発医薬品使用割合 ☆平均在院日数（一般・精神） ☆病床稼働率（一般・精神） ☆1日あたりの外来患者数 ☆新規外来患者数 ☆初回入院患者数 ☆医師一人当たりの平均診療報酬

次ページへ続きます

第4期中期目標項目（案）

資料2

1. 地域の安心と社会の発展への貢献（診療）

●：継続、★：新規

○：継続、☆：新規

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	中期目標（本文）	成果指標	【参考】計画または進捗管理(案)
	8 地域医療提供体制の強化	医師の散在・偏在の解消 ・地域の実情に応じた適正な医師配置により、医師の散在・偏在を解消し、医療提供体制を堅持する。	●医師が不足するへき地や診療科、診療分野に従事する医師数の増加	☆地域医療行政への関与件数 ☆地域への医師派遣数 ○県立医大医師派遣センター等を通じた地域の医療機関への配置医師数 ○県費奨学生の返還免除率 ○訪問看護ステーションとの連携強化
		地域医療を支える人材の育成・確保 ・附属病院で従事する医療人の質の向上、キャリア支援 ・地域医療に従事する医療人のスキルアップに向けた支援		☆専門医、認定医新規資格取得者数 ☆臨床研修指導医数 ☆看護学生実習受入学生数（本学看護学科） ☆看護学生実習受入学生数（本学看護学科以外） ☆附属病院の臨床研修医のマッチング率 ○特定行為研修新規修了者数（急性期コース、慢性期・在宅コース） ○認定看護師新規認定者数 ○専門看護師新規資格取得者数 ☆薬剤師研修受入数 ☆薬学生実習受入学生数
		地域医療機関との連携強化 ・地域の医療機関との適切な機能分担と緊密な連携を推進し、地域医療を支える。	●高い紹介率の維持 ●高い逆紹介率の維持	☆脳卒中・心臓病等総合支援センターにおける地域住民への情報提供・普及啓発（内容については検討中）

第4期中期目標項目（案）

資料2

2. 安定した法人運営

●：継続、★：新規

○：継続、☆：新規

中期目標（大項目）	中期目標（中項目）	中期目標（本文）	成果指標	【参考】計画または進捗管理(案)
法人運営 ＜持続可能で安定的な法人運営＞	9 業務運営の改善及び効率化	業務運営の改善及び業務の効率化 ・誰もが働きやすい職場づくりに取り組む。 ・働き方改革の観点から、タスクシフトを進めるとともに業務運営全般の見直しを行い、ICTの活用等により業務の効率化や多様な働き方を実現する。	●ワークライフバランスに関するアンケートにおける満足度の向上	○超過勤務時間数 ○休暇取得日数 ○男性の育休取得率 ○女性医師数 ○職員の在職率 ○復職支援カリキュラムの満足度 ○障害者雇用率 ☆育児・介護等部分休業取得率 ☆時差出勤制度利用率 ☆研究支援員配置数
	10 財務内容の改善	経営基盤の強化 収入の確保と経費の抑制を図り、持続可能で安定的な法人運営を確立する。	★中期目標・中期計画期間の収支均衡	○未来への飛躍基金寄附実績
	11 業務運営に関する自己点検・評価及び情報発信	業務運営に関する自己点検・評価及び情報発信 ・自己点検・評価を適切に実施し、法人の業務運営の改善に反映させる。 ・県民や社会に対する説明責任を果たすとともに、教育・研究・診療等に係る取組や成果を広く発信する。	★中期目標達成に向けた進捗管理における課題の把握及び改善	☆成果指標等の改善数 ☆報道発表件数 ☆メディア掲載件数（学報掲載）
	12 その他の業務運営に関する重要項目	施設・設備の整備・活用 ・新キャンパスの活用に努める。 ・既存キャンパスの老朽化対策、新病棟等の整備検討 安全管理等に関する体制強化 ・災害及び事故等の不測の事態が発生した時に備えた危機管理体制を確立する。 ・情報セキュリティ対策を充実・強化し、医療情報、個人情報、法人情報等を適正かつ厳格に管理する。 ガバナンス体制の充実 ・理事長の下、全教職員のコンプライアンスの徹底を図り、責任所在の明確化と合理性を徹底したガバナンス体制の構築 ・理念の理解度の向上と運営方針の徹底を図る。 優秀な人材の確保と育成 ・経営感覚、改革意欲に富んだ人材の確保・育成を図る。		☆訓練実施回数 ☆情報セキュリティ研修実施回数 ☆ハラスメント研修実施回数 ☆研究不正防止研修会実施回数